

## 日光白根山の火山活動解説資料（平成 25 年 3 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1）

歌ヶ浜（日光白根山の南東約 13 km）に設置にしてある遠望カメラによる観測では、山頂部に噴気は認められませんでした。

#### ・地震活動（図 2 - 、図 3）

日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

2013 年 2 月 25 日（期間外）に栃木県北部（日光白根山の山頂から北北東へ約 10 km 付近）で発生したマグニチュード（M）6.3<sup>1)</sup>の地震による余震活動は、低下しながらも継続しています。今期間、1 日から 11 日にかけて、栃木県日光市湯元などで最大震度 2 を観測する地震が 5 回（M2.3~3.0<sup>1)</sup>）、また、31 日に福島県檜枝岐村河原で最大震度 1 を観測する地震が 1 回（M2.8<sup>1)</sup>）発生しました。

火山性微動は観測されませんでした。

1) マグニチュード（M）の値は暫定値で、後日変更することがあります。

#### ・地殻変動の状況（図 2 - ）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 日光白根山 山頂部の状況

（3 月 15 日 歌ヶ浜遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 4 月分）は平成 25 年 5 月 10 日に発表する予定です。

この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

日光白根山

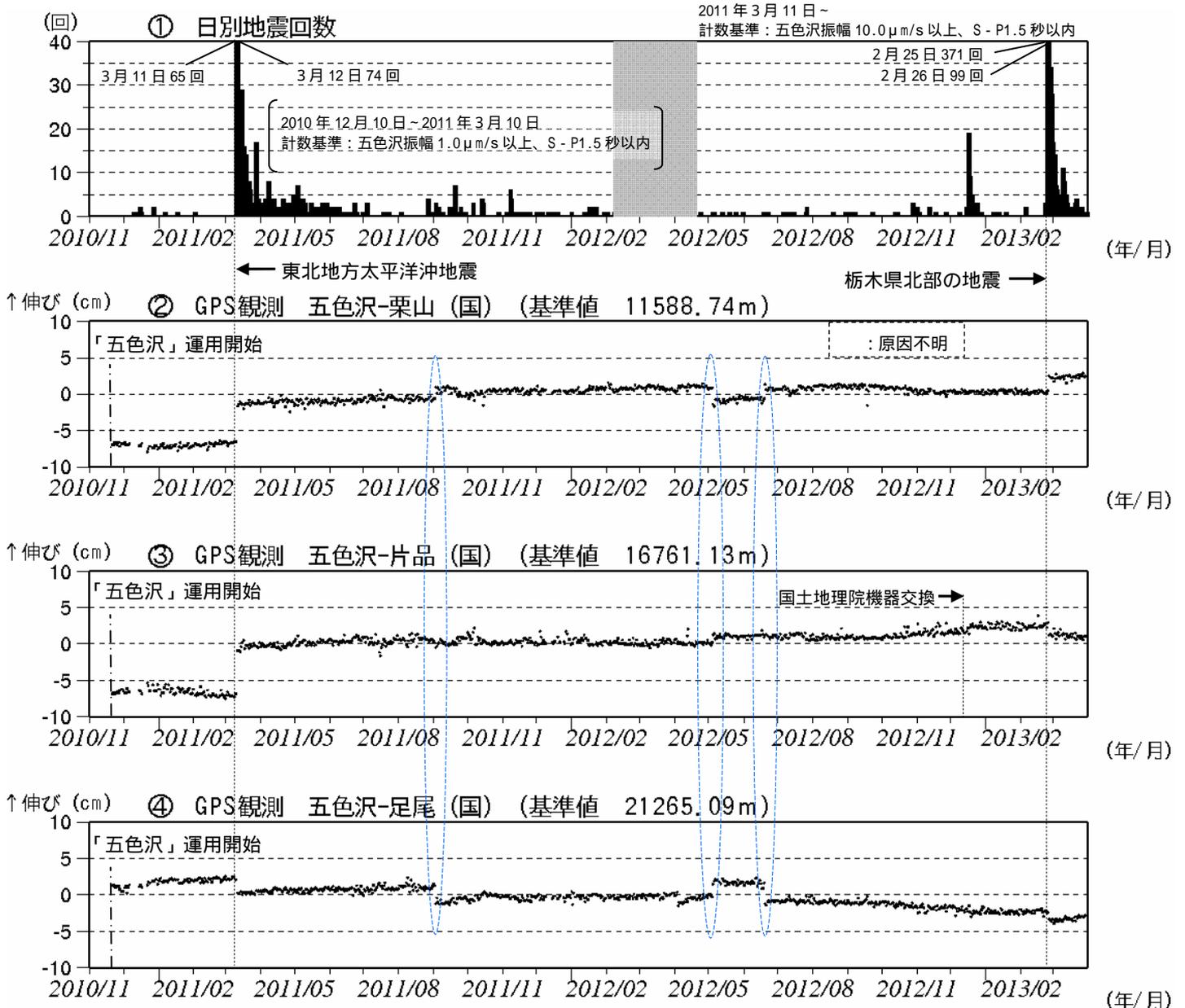


図2 日光白根山 火山活動経過図（2010年11月20日～2013年3月31日）

- 日光白根山周辺の日別地震回数
- ・2010年12月10日観測開始
  - ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。
  - ・2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震による余震活動は、今期間、低下しながらも継続しています。
  - ・グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ～ GPS連続観測による基線長変化（国）：国土地理院
- ・五色沢観測点の運用開始日：2010年11月20日
  - ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
  - ・青い破線で示したデータの飛びの原因は不明です。
  - ・2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震の影響により、データに飛びがみられます。
  - ・グラフの空白部分は欠測を示します。
  - ・～ は図4の～ に対応しています。

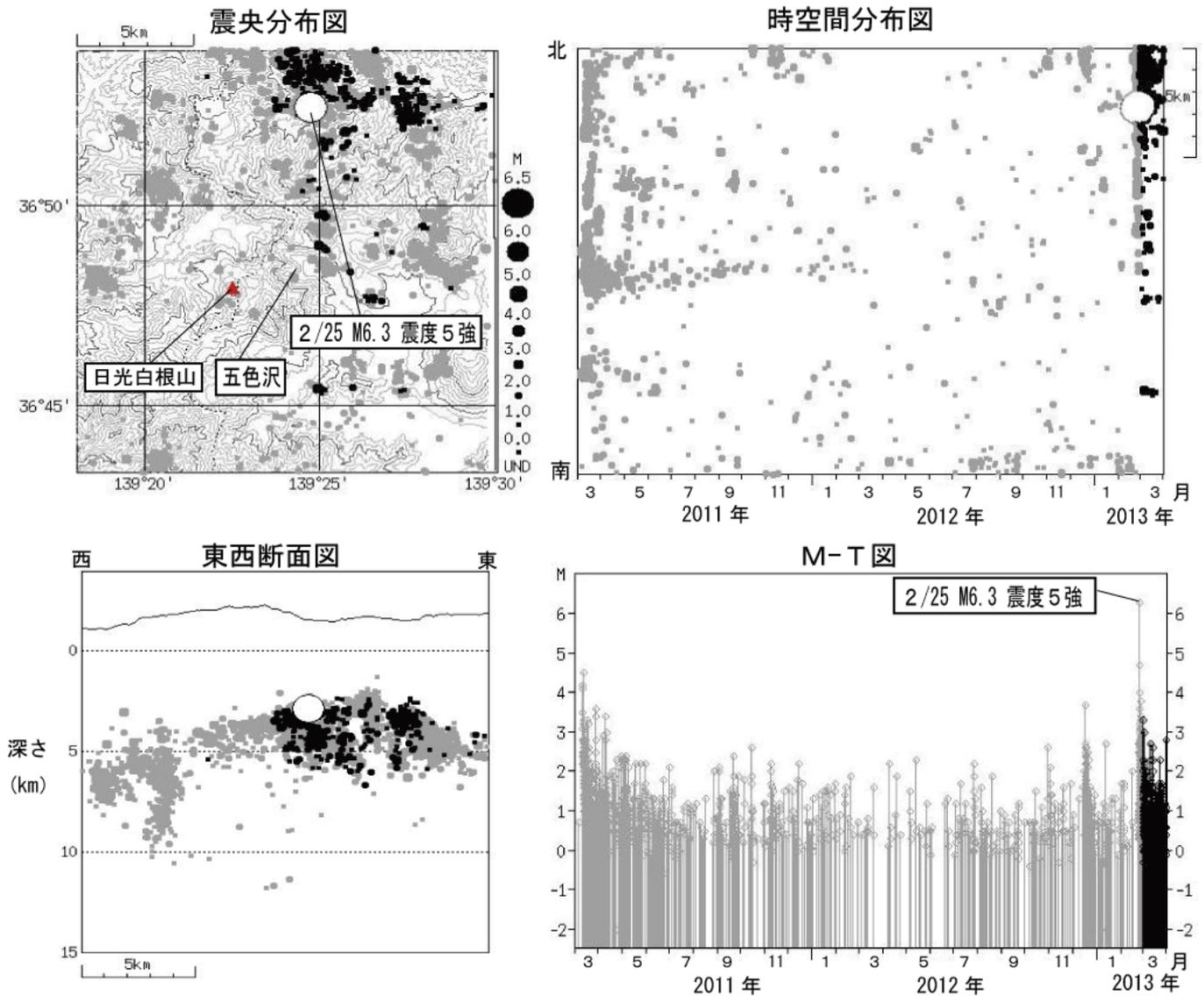
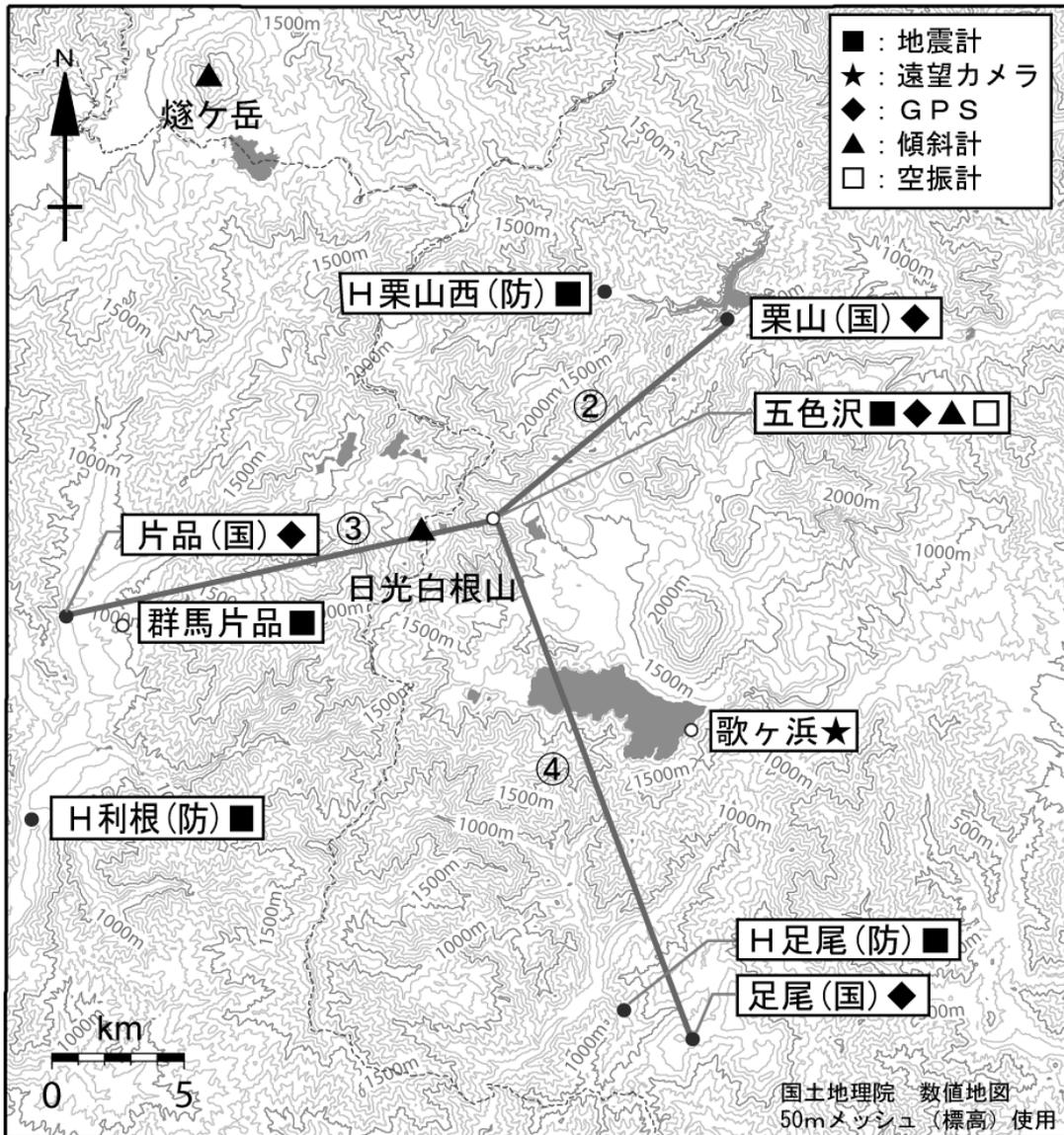


図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011年3月1日～2013年3月31日)  
 : 2011年3月1日～2013年2月28日  
 : 2013年3月1日～3月31日

- ・2013年2月25に発生した栃木県北部の地震（M6.3：図中白抜きのシンボル）による余震活動は、今期間、低下しながらも継続しています。
- ・M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過しました。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所

図 4 日光白根山 観測点配置  
 GPS 基線 ~ は図 2 の ~ に対応しています。